

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校
設置者名	学校法人 中村学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	観光科	夜・通信	166 時間	160 時間	
	観光科	夜・通信	120 時間	90 時間	
	テーマパーク科	夜・通信	180 時間	160 時間	
	テーマパーク科	夜・通信	120 時間	90 時間	
	鉄道科	夜・通信	165 時間	160 時間	
	ホテル科	夜・通信	169 時間	160 時間	
	ホテル科	夜・通信	120 時間	90 時間	
	ブライダル科	夜・通信	165 時間	160 時間	
	ブライダル科	夜・通信	120 時間	90 時間	
	エアライン科	夜・通信	165 時間	160 時間	
	エアライン科	夜・通信	120 時間	90 時間	
	語学集中科	夜・通信	165 時間	160 時間	
	デュアル科	夜・通信	420 時間	90 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p>http://www.ithb.ac.jp (学校ホームページ→「情報公開」ページ→カリキュラム)</p>
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校
設置者名	学校法人 中村学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://www.ithb.ac.jp>
(学校ホームページ→「学園情報」ページ→理事)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社FMG 代表取締役 社長	2019年6月1日～ 2022年5月31日	学識経験による
非常勤	古谷乳業株式会社 代表取締役 社長	2019年6月1日～ 2022年5月31日	学識経験による
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校
設置者名	学校法人 中村学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>〈教育課程の決定〉 学科目標に沿った教育課程の編成を各科において検討し、年2回実施される教育課程編成委員会において企業等委員より業界のニーズ等を伺いながら、科目編成や授業工夫・改善に関する意見を集約し、諸会議を経て教育課程を決定する。</p> <p>〈授業計画書(シラバス)〉 教育課程表を基にし、効果的な教員を検討・配置する。担当教員と科目の到達目標、授業内容、成績評価の方法等を検討し授業計画を作成する。 作成されたシラバスは学校ホームページにおいて年初に当年開講科目について学科コース毎に公表される。(ホームページは以下参照)</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>http://www.ithb.ac.jp (学校ホームページ→「情報公開」ページ→カリキュラム)</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>〈学修成果の評価〉 各学年・学期にて評価試験・出席率・平常点に基づいて総合的に判定される。 評価は原則4段階評価を行う。 A=優、B=良、C=可、D=不可 A~C「認定」、D「不認定」とする。 ただし、4段階評価が困難な場合は、R=認定とすることも可とする。 学内では教育の質確保に資するため、全学共通の単位認定の最低基準を設けている。 基準は評価試験30点以上、出席率50%以上、平常点可以上とする。 詳細な成績評価方法や基準は科目により異なるが、シラバス上に明記し、授業開始時に学生へ周知するとともに、ホームページ上で確認ができる。</p> <p>〈単位認定〉 [昼間部] 各期において規定する基準単位を取得する。 [夜間部] 各年の全取得単位の90%を取得する。ただし、実習単位は規定する基準単位を取得する。 昼間部及び夜間部の進級・卒業に必要とされる不認定科目については、再評価を受け単位を修得する。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p><成績評価の指標> 各学年・学期にて評価試験・出席率・平常点に基づいて判定される。 評価は原則4段階評価を行う。 A＝優、B＝良、C＝可、D＝不可 A～C「認定」、D「不認定」とする。 ただし、4段階評価が困難な場合は、R＝認定とすることも可とする。</p> <p><成績の客観的指標の算出> 客観的指標については、各期において学年・学科コース別に算出する。 (1) 各科目の評価を点数化する。(A：3点、B：2点、C：1点、D：0点) ただし、シラバスに明記された成績評価基準がR(認定)／D(不認定)のいずれかとする科目については、指標算出から除外する。 (2) (1)で算出された数値に該当科目の授業時間数を乗じる。 (3) 全科目における(2)の合計数値を当該学期総授業時間数で除する。 (小数第三位を四捨五入) (4) 各科目の出席時間数の合計を算出する。 (5) (4)を当該学期総授業時間数で除する。(小数第三位を四捨五入) (6) (3)と(5)を合わせた数値を指標とする。</p> <p>指標数値の分布は「4.0以上～1.0未満」の範囲で8段階とする。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://www.ithb.ac.jp (学校ホームページ→「情報公開」ページ→カリキュラム)
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p><卒業の認定方針> 教育の基本理念及び基本方針に基づき、卒業後、観光・ブライダル業界で即戦力として活躍できるカリキュラムを企業等と連携して編成している。所定の期間、在学して定められた授業科目を履修し、規定単位数を修得することが卒業認定の要件となる。修得すべき授業科目には、講義科目のほか演習や実習、関連行事、研究等の科目が含まれる。</p> <p><卒業要件> 次の要件を(1)・(2)ともに満たしていること。 (1) 規定する卒業基準単位を取得する。 (2) 所定の期日までに学費を納入する。</p> <p><適切な実施に係る取組> 進級・卒業時には、単位取得や学費の納入状況等、総合的な判断を行う会議を設け、卒業・進級の認定を網羅的に行っている。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	http://www.ithb.ac.jp (学校ホームページ→「情報公開」ページ→カリキュラム)

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校
設置者名	学校法人 中村学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	http://www.ithb.ac.jp (学校ホームページ→情報公開→8.学校の財務→財務状況)
収支計算書又は損益計算書	http://www.ithb.ac.jp (学校ホームページ→情報公開→8.学校の財務→財務状況)
財産目録	http://www.ithb.ac.jp (学校ホームページ→情報公開→8.学校の財務→財務状況)
事業報告書	http://www.ithb.ac.jp (学校ホームページ→情報公開) ・報告書の書式ではなく、情報公開内容全般を事業報告とする。
監事による監査報告（書）	http://www.ithb.ac.jp (学校ホームページ→情報公開→8.学校の財務→財務状況)

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	観光科 トラベルコース	○	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1704 単位時間/単位	969 単位時間 /単位	750 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	30 単位時間 /単位
1749 単位時間/単位							
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	観光科 ツアーコンダクターコース	○	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1734 単位時間/単位	969 単位時間 /単位	720 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	90 単位時間 /単位
1779 単位時間/単位							
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	24人	0人	26人の 内数3人	112人の 内数21人	138人の 内数24人		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
16人 (100.0%)	0人 (0.0%)	16人 (100.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 旅行業界、鉄道業界等			
（就職指導内容） 専任の就職担当による徹底した個別指導を通じて、各学生の希望や特性に合った企業紹介から進路決定まで行う。就職活動を成功に導くための各種プログラム及び教育課程を編成している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 国内旅行業務取扱管理者、総合旅行業務取扱管理者、旅程管理主任者、 国内/海外旅行地理検定、世界遺産検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28人	2人	7.1%
（中途退学の主な理由） 旅行業界への意欲喪失2名		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生面談において、学生状況の把握を行い早期解決に向けた取組みを行う。保護者面談等を実施し、全職員で学生システム及び会議内で共有し、各室連携して対応にあたる。なお、経済的理由の場合には、各学期において夜間部への転科を認めており、クラス不適合等の場合は、夜間部を含めた転科（コース）を認める場合がある。また、学生相談のためのスクールカウンセラーを配置し、学外においてカウンセリングの場を提供している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	観光科	-	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1200 単位時間/単位	840 単位時間 /単位	495 単位時間 /単位	240 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1575 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
10人	2人	0人	26人の 内数1人	112人の 内数19人	138人の 内数20人		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 旅行業界等(ただし、2018年度(平成30年度)卒業生なし)			
(就職指導内容) 専任の就職担当による徹底した個別指導を通じて、各学生の希望や特性に合った企業紹介から進路決定まで行う。就職活動を成功に導くための各種プログラム及び教育課程を編成している。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 国内旅行業務取扱管理者、国内/海外旅行地理検定、世界遺産検定、サービス介助士 (ただし、2018年度(平成30年度)卒業生なし)			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	1人	33.3%
(中途退学の主な理由) 業界への意欲喪失1名		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生面談において、学生状況の把握を行い早期解決に向けた取組みを行う。保護者面談等を実施し、全職員で学生システム及び会議内で共有し、各室連携して対応にあたる。なお、経済的理由の場合には、各学期において夜間部への転科を認めており、クラス不適合等の場合は、夜間部を含めた転科(コース)を認める場合がある。また、学生相談のためのスクールカウンセラーを配置し、学外においてカウンセリングの場を提供している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	テーマパーク科 テーマパークコース	○	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1710 単位時間/単位	300 単位時間 /単位	1410 単位時間 /単位	120 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1830 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	30人	0人	26人の 内数2人	112人の 内数22人	138人の 内数24人		

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

6人 (100.0%)	0人 (0.0%)	6人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 旅行業界、鉄道業界等			
(就職指導内容) 専任の就職担当による徹底した個別指導を通じて、各学生の希望や特性に合った企業紹介から進路決定まで行う。就職活動を成功に導くための各種プログラム及び教育課程を編成している。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 手話検定4級、秘書検定3級、サービス介助士			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生面談において、学生状況の把握を行い早期解決に向けた取組みを行う。保護者面談等を実施し、全職員で学生システム及び会議内で共有し、各室連携して対応にあたる。なお、経済的理由の場合には、各学期において夜間部への転科を認めており、クラス不適合等の場合は、夜間部を含めた転科(コース)を認める場合がある。また、学生相談のためのスクールカウンセラーを配置し、学外においてカウンセリングの場を提供している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	テーマパーク科	-	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1200 単位時間/単位	630 単位時間 /単位	645 単位時間 /単位	240 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
		1515 単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	7人	0人	26人の 内数3人	112人の 内数19人	138人の 内数22人		

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6人 (100.0%)	0人 (0.0%)	6人 (100.0%)	0人 (0.0%)

(主な就職、業界等) テーマパーク 業界他
(就職指導内容) 専任の就職担当による徹底した個別指導を通じて、各学生の希望や特性に合った企業紹介から進路決定まで行う。就職活動を成功に導くための各種プログラム及び教育課程を編成している。
(主な学修成果 (資格・検定等)) サービス介助士
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
11 人	3 人	27.3%
(中途退学の主な理由) 業界への意欲喪失 2 名、精神的理由 1 名		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生面談において、学生状況の把握を行い早期解決に向けた取組みを行う。保護者面談等を実施し、全職員で学生システム及び会議内で共有し、各室連携して対応にあたる。なお、経済的理由の場合には、各学期において夜間部への転科を認めており、クラス不適合等の場合は、夜間部を含めた転科(コース)を認める場合がある。また、学生相談のためのスクールカウンセラーを配置し、学外においてカウンセリングの場を提供している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	鉄道科 鉄道・交通サービスコース	○	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼	1703 単位時間/単位	758 単位時間 /単位	900 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	90 単位時間 /単位
			1748 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40 人	45 人	0 人	26 人の 内数 3 人	112 人の 内数 24 人	138 人の 内数 27 人		

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
24 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)	24 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)
(主な就職、業界等) 鉄道業界等			

(就職指導内容) 専任の就職担当による徹底した個別指導を通じて、各学生の希望や特性に合った企業紹介から進路決定まで行う。就職活動を成功に導くための各種プログラム及び教育課程を編成している。
(主な学修成果(資格・検定等)) 国内旅行業務取扱管理者、国内/海外旅行地理検定、世界遺産検定、サービス介助士
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42人	2人	4.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更1名、業界への意欲喪失1名		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生面談において、学生状況の把握を行い早期解決に向けた取組みを行う。保護者面談等を実施し、全職員で学生システム及び会議内で共有し、各室連携して対応にあたる。なお、経済的理由の場合には、各学期において夜間部への転科を認めており、クラス不適合等の場合は、夜間部を含めた転科(コース)を認める場合がある。また、学生相談のためのスクールカウンセラーを配置し、学外においてカウンセリングの場を提供している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	ホテル科 ホテルコース	○	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業 時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1751 単位時間/単位	435 単位時間 /単位	1027 単位時間 /単位	334 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
		1796 単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	122人	0人	26人の 内数3人	112人の 内数32人	138人の 内数35人		

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
60人 (100.0%)	0人 (0.0%)	60人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) ホテル業界等			
(就職指導内容) 専任の就職担当による徹底した個別指導を通じて、各学生の希望や特性に合った企業紹介から進路決定まで行う。就職活動を成功に導くための各種プログラム及び教育課程を編成している。			

(主な学修成果(資格・検定等)) ホテルレストランサービス技能検定、ホテルビジネス実務検定、ホテル実務技能認定試験、 電話対応技能検定、チャイルドケアオブザーバー、サービス介助士
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
122人	5人	4.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更2名、業界への意欲喪失3名		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生面談において、学生状況の把握を行い早期解決に向けた取組みを行う。保護者面談等を実施し、全職員で学生システム及び会議内で共有し、各室連携して対応にあたる。なお、経済的理由の場合には、各学期において夜間部への転科を認めており、クラス不適合等の場合は、夜間部を含めた転科(コース)を認める場合がある。また、学生相談のためのスクールカウンセラーを配置し、学外においてカウンセリングの場を提供している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	ホテル科	-	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数 1200 単位時間/単位	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜		735 単位時間 /単位	555 単位時間 /単位	240 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
1530 単位時間/単位							
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	41人	0人	26人の 内数1人	112人の 内数19人	138人の 内数20人		

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
8人 (100.0%)	0人 (0.0%)	8人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) ホテル業界等			
(就職指導内容) 専任の就職担当による徹底した個別指導を通じて、各学生の希望や特性に合った企業紹介から進路決定まで行う。就職活動を成功に導くための各種プログラム及び教育課程を編成している。			
(主な学修成果(資格・検定等)) ホテルレストランサービス技能検定、ホテルビジネス実務検定、ホテル実務技能認定試験、 サービス介助士			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	2人	7.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更1名、業界への意欲喪失1名		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生面談において、学生状況の把握を行い早期解決に向けた取組みを行う。保護者面談等を実施し、全職員で学生システム及び会議内で共有し、各室連携して対応にあたる。なお、経済的理由の場合には、各学期において夜間部への転科を認めており、クラス不適合等の場合は、夜間部を含めた転科(コース)を認める場合がある。また、学生相談のためのスクールカウンセラーを配置し、学外においてカウンセリングの場を提供している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	ブライダル科 ウェディングプランナーコース	○	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1725 単位時間/単位	375 単位時間 /単位	1125 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	90 単位時間 /単位
1770 単位時間/単位							
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	ブライダル科 ビューティスタイリストコース	○	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1710 単位時間/単位	450 単位時間 /単位	1065 単位時間 /単位	180 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	60 単位時間 /単位
1755 単位時間/単位							
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
160人	128人	0人	26人の 内数4人	112人の 内数35人	138人の 内数24人		

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
55人 (100.0%)	0人 (0.0%)	55人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) ブライダル業界、ホテル業界等			

(就職指導内容) 専任の就職担当による徹底した個別指導を通じて、各学生の希望や特性に合った企業紹介から進路決定まで行う。就職活動を成功に導くための各種プログラム及び教育課程を編成している。
(主な学修成果(資格・検定等)) ブライダルコーディネート技能検定、色彩検定、フォーマルスペシャリスト検定、ドレスコーディネーター検定、ライフ/パーソナルカラー検定、さもの文化検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
117人	5人	4.3%
(中途退学の主な理由) 健康上の理由1名、業界への意欲喪失4名		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生面談において、学生状況の把握を行い早期解決に向けた取組みを行う。保護者面談等を実施し、全職員で学生システム及び会議内で共有し、各室連携して対応にあたる。なお、経済的理由の場合には、各学期において夜間部への転科を認めており、クラス不適合等の場合は、夜間部を含めた転科(コース)を認める場合がある。また、学生相談のためのスクールカウンセラーを配置し、学外においてカウンセリングの場を提供している。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	ブライダル科	-	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1200 単位時間/単位	855 単位時間 /単位	585 単位時間 /単位	240 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1680 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		10人	0人	26人の 内数2人	112人の 内数20人	138人の 内数22人	

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6人 (100.0%)	0人 (0.0%)	6人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) ブライダル業界、ホテル業界等			
(就職指導内容) 専任の就職担当による徹底した個別指導を通じて、各学生の希望や特性に合った企業紹介から進路決定まで行う。就職活動を成功に導くための各種プログラム及び教育課程を編成している。			

(主な学修成果(資格・検定等)) ブライダルコーディネーター技能検定、フォーマルスペシャリスト検定、 ドレスコーディネーター検定
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12人	1人	8.3%
(中途退学の主な理由) 業界への意欲喪失1名		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生面談において、学生状況の把握を行い早期解決に向けた取組みを行う。保護者面談等を実施し、全職員で学生システム及び会議内で共有し、各室連携して対応にあたる。なお、経済的理由の場合には、各学期において夜間部への転科を認めており、クラス不適合等の場合は、夜間部を含めた転科(コース)を認める場合がある。また、学生相談のためのスクールカウンセラーを配置し、学外においてカウンセリングの場を提供している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	エアライン科 キャビンアテンダントコース	○	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
2年	昼	1770 単位時間/単位	講義	演習	実習	実験	実技
			750 単位時間 /単位	1035 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	60 単位時間 /単位
			1845 単位時間/単位				
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	エアライン科 エアポートサービスコース	○	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
2年	昼	1755 単位時間/単位	講義	演習	実習	実験	実技
			780 単位時間 /単位	990 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	60 単位時間 /単位
			1830 単位時間/単位				
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	エアライン科 エアポートカーゴコース	○	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
2年	昼	1710 単位時間/単位	講義	演習	実習	実験	実技
			795 単位時間 /単位	870 単位時間 /単位	60 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	30 単位時間 /単位
			1755 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	68人	0人	26人の	112人の	138人の		

			内数 3 人	内数 26 人	内数 29 人
--	--	--	--------	---------	---------

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)	19 人 (100.0%)	0 人 (0.0%)
（主な就職、業界等） エアライン業界等			
（就職指導内容） 専任の就職担当による徹底した個別指導を通じて、各学生の希望や特性に合った企業紹介から進路決定まで行う。就職活動を成功に導くための各種プログラム及び教育課程を編成している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） TOEIC、アマデウス検定、国際航空貨物取扱士、中国語検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
59 人	2 人	3.4%
（中途退学の主な理由） 業界への意欲喪失 2 名		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生面談において、学生状況の把握を行い早期解決に向けた取組みを行う。保護者面談等を実施し、全職員で学生システム及び会議内で共有し、各室連携して対応にあたる。なお、経済的理由の場合には、各学期において夜間部への転科を認めており、クラス不適合等の場合は、夜間部を含めた転科（コース）を認める場合がある。また、学生相談のためのスクールカウンセラーを配置し、学外においてカウンセリングの場を提供している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	エアライン科	-	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	夜	1200 単位時間/単位	825 単位時間 /単位	555 単位時間 /単位	240 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
		1620 単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20 人	6 人	0 人	26 人の 内数 1 人	112 人の 内数 17 人	138 人の 内数 18 人		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
2人 (100.0%)	0人 (0.0%)	2人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) エアライン業界等			
(就職指導内容) 専任の就職担当による徹底した個別指導を通じて、各学生の希望や特性に合った企業紹介から進路決定まで行う。就職活動を成功に導くための各種プログラム及び教育課程を編成している。			
(主な学修成果(資格・検定等)) TOEIC、アマデウス検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2人	1人	50.0%
(中途退学の主な理由) 業界への意欲喪失1名		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生面談において、学生状況の把握を行い早期解決に向けた取組みを行う。保護者面談等を実施し、全職員で学生システム及び会議内で共有し、各室連携して対応にあたる。なお、経済的理由の場合には、各学期において夜間部への転科を認めており、クラス不適合等の場合は、夜間部を含めた転科(コース)を認める場合がある。また、学生相談のためのスクールカウンセラーを配置し、学外においてカウンセリングの場を提供している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	語学集中科 観光外語コース	○	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数 1714 単位時間/単位	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼		405 単位時間 /単位	1354 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1759 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	27人	0人	26人の 内数2人	112人の 内数20人	138人の 内数22人		

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他

13人 (100.0%)	0人 (0.0%)	13人 (100.0%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等) ホテル業界、エアライン業界、旅行業界			
(就職指導内容) 専任の就職担当による徹底した個別指導を通じて、各学生の希望や特性に合った企業紹介から進路決定まで行う。就職活動を成功に導くための各種プログラム及び教育課程を編成している。			
(主な学修成果(資格・検定等)) TOEIC、実用英語検定、観光衣英語検定、中国語検定			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
30人	2人	6.7%
(中途退学の主な理由) 業界への意欲喪失2名		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学生面談において、学生状況の把握を行い早期解決に向けた取組みを行う。保護者面談等を実施し、全職員で学生システム及び会議内で共有し、各室連携して対応にあたる。なお、経済的理由の場合には、各学期において夜間部への転科を認めており、クラス不適合等の場合は、夜間部を含めた転科(コース)を認める場合がある。また、学生相談のためのスクールカウンセラーを配置し、学外においてカウンセリングの場を提供している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	商業実務 専門課程	デュアル科 トラベルコース	○	-
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類	
			講義	演習
2年	夜	1800 単位時間/単位	840 単位時間 /単位	495 単位時間 /単位
			840 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2175 単位時間/単位	
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	商業実務 専門課程	デュアル科 ホテルコース	○	-
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類	
			講義	演習
2年	夜	1800 単位時間/単位	735 単位時間 /単位	555 単位時間 /単位
			840 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2190 単位時間/単位	
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	商業実務 専門課程	デュアル科 エアラインコース	○	-

修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授 業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜	1800 単位時間/単位	825 単位時間 /単位	555 単位時間 /単位	840 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2220 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
20人	2人	0人	26人の 内数3人	112人の 内数24人	138人の 内数27人		

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1人 (100.0%)	0人 (0.0%)	1人 (100.0%)	0人 (0.0%)
（主な就職、業界等） 旅行業界、ホテル業界、エアライン業界等			
（就職指導内容） 専任の就職担当による徹底した個別指導を通じて、各学生の希望や特性に合った企業紹介から 進路決定まで行う。就職活動を成功に導くための各種プログラム及び教育課程を編成している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） TOEIC、アマデウス検定、ホテルレストランサービス技能検定、ホテルビジネス実務検定、 ホテル実務技能認定試験、国内旅行業務取扱管理者、サービス介助士等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7人	0人	0.0%
（中途退学の主な理由） 中途退学者は0人だが、年初在学者のうち2名がデュアル科エアラインコースより、エ アライン科夜間部へ転科		
（中退防止・中退者支援のための取組） 学生面談において、学生状況の把握を行い早期解決に向けた取組みを行う。保護者面談等を実 施し、全職員で学生システム及び会議内で共有し、各室連携して対応にあたる。なお、経済的 理由の場合には、各学期において夜間部への転科を認めており、クラス不適合等の場合は、夜 間部を含めた転科（コース）を認める場合がある。また、学生相談のためのスクールカウンセ ラーを配置し、学外においてカウンセリングの場を提供している。		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
【全学科コース共通】 （概要） <教育課程の決定> 学科目標に沿った教育課程の編成を各科において検討し、年2回実施される教育課程編成委 員会において企業等委員より業界のニーズ等を伺いながら、科目編成や授業工夫・改善に関す

る意見を集約し、諸会議を経て教育課程を決定する。

〈授業計画書〉

教育課程表を基にし、効果的な教員を検討・配置する。担当教員と科目の到達目標、授業内容、成績評価の方法等を検討し授業計画を作成する。

作成された授業計画は学校ホームページにおいて年初に当年開講科目について学科コース毎に公表される。

成績評価の基準・方法

【全学科コース共通】

(概要)

〈学修成果の評価〉

各学年・学期にて評価試験・出席率・平常点に基づいて総合的に判定される。

評価は原則4段階評価を行う。

A＝優、B＝良、C＝可、D＝不可 A～C「認定」、D「不認定」とする。

ただし、4段階評価が困難な場合は、R＝認定とすることも可とする。

学内では教育の質確保に資するため、全学共通の単位認定の最低基準を設けている。

基準は、評価試験30点以上、出席率50%以上、平常点可以上とする。

詳細な成績評価方法や基準は科目により異なるが、シラバス上に明記し、授業開始時に学生へ周知するとともに、WEB上で確認ができる。

〈単位認定〉

[昼間部] 各期において規定する基準単位を取得する。

[夜間部] 各年の全取得単位の90%を取得する。ただし、実習単位は規定する基準単位を取得する。

昼間部及び夜間部の進級・卒業に必要とされる不認定科目については、再評価を受け単位を修得する。

卒業・進級の認定基準

【全学科コース共通】

(概要)

〈卒業の認定方針〉

教育の基本理念及び基本方針に基づき、卒業後、観光・ブライダル業界で即戦力として活躍できるカリキュラムを企業等と連携して編成している。所定の期間、在学して定められた授業科目を履修し、規定単位数を修得することが卒業認定の要件となる。修得すべき授業科目には、講義科目のほか演習や実習、関連行事、研究等の科目が含まれる。

〈卒業・進級要件〉

次の要件を(1)・(2)ともに満たしていること。

(1) 卒業 : 規定する卒業基準単位を取得する。

進級 : [昼間部] 各期において規定する基準単位を取得する。

[夜間部] 各年の全取得単位の90%を取得する。ただし、実習単位は規定する基準単位を取得する。

(2) 所定の期日までに学費を納入する。

〈適切な実施に係る取組〉

進級・卒業時には、要件である単位取得や学費の納入状況等、総合的な判断を行う会議を設け、卒業・進級の認定を網羅的に行っている。

学修支援等
(概要) 各期においてクラス担任による面談を実施。その他、随時必要に応じて個人面談及び保護者面談を行う。学生状況は、全職員に学生システム及び会議内で共有され、各室連携し、対応する。

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
観光科 トラベルコース	120,000 円	1,020,000 円 (1 年次) 1,092,000 円 (2 年次)	583,000 円	施設費 (各年) 150,000 円 1 年研修費・教科書 367,000 円 2 年研修費・教科書 66,000 円
鉄道科 鉄道・交通サービスコース	120,000 円	1,020,000 円 (1 年次) 1,092,000 円 (2 年次)	549,000 円	施設費 (各年) 150,000 円 1 年研修費・教科書 365,000 円 2 年研修費・教科書 34,000 円
テーマパーク科 テーマパークコース	120,000 円	1,020,000 円 (1 年次) 1,092,000 円 (2 年次)	624,000 円	施設費 (各年) 150,000 円 1 年研修費・教科書 419,000 円 2 年研修費・教科書 55,000 円
ホテル科 ホテルコース	120,000 円	1,020,000 円 (1 年次) 1,092,000 円 (2 年次)	611,600 円	施設費 (各年) 150,000 円 1 年研修費・教科書 419,600 円 2 年研修費・教科書 42,000 円
ブライダル科 ウェディングプランナーコース	120,000 円	1,020,000 円 (1 年次) 1,092,000 円 (2 年次)	664,150 円	施設費 (各年) 150,000 円 1 年研修費・教科書 365,500 円 2 年研修費・教科書 148,650 円
ブライダル科 ビューティストコース	120,000 円	1,020,000 円 (1 年次) 1,092,000 円 (2 年次)	710,150 円	施設費 (各年) 150,000 円 1 年研修費・教科書 366,500 円 2 年研修費・教科書 193,650 円
エアライン科 キャビンアテンダントコース	120,000 円	1,020,000 円 (1 年次) 1,092,000 円 (2 年次)	588,500 円	施設費 (各年) 150,000 円 1 年研修費・教科書 404,500 円 2 年研修費・教科書 34,000 円
エアライン科 エアポートサービスコース	120,000 円	1,020,000 円 (1 年次) 1,092,000 円 (2 年次)	585,000 円	施設費 (各年) 150,000 円 1 年研修費・教科書 401,000 円 2 年研修費・教科書 34,000 円
エアライン科 エアポートカーゴコース	120,000 円	1,020,000 円 (1 年次) 1,092,000 円 (2 年次)	627,000 円	施設費 (各年) 150,000 円 1 年研修費・教科書 443,000 円 2 年研修費・教科書 34,000 円
語学集中科 観光外語コース	120,000 円	1,020,000 円 (1 年次)	755,000 円	施設費 (各年) 150,000 円 1 年研修費・教科書 578,000 円

		1,092,000円 (2年次)		2年研修費・教科書 27,000円
観光科 夜間部 ※2018年4月より募集停止の学科	60,000円	486,000円 (1年次) 510,000円 (2年次)	295,500円	施設費(各年) 100,000円 1年研修費・教科書 173,500円 2年研修費・教科書 22,000円
テーマパーク科 夜間部	60,000円	486,000円 (1年次) 510,000円 (2年次)	267,500円	施設費(各年) 100,000円 1年研修費・教科書 144,500円 2年研修費・教科書 23,000円
ホテル科 夜間部	60,000円	486,000円 (1年次) 510,000円 (2年次)	276,500円	施設費(各年) 100,000円 1年研修費・教科書 149,500円 2年研修費・教科書 26,500円
ブライダル科 夜間部	60,000円	486,000円 (1年次) 510,000円 (2年次)	338,100円	施設費(各年) 100,000円 1年研修費・教科書 184,500円 2年研修費・教科書 53,600円
エアライン科 夜間部	60,000円	486,000円 (1年次) 510,000円 (2年次)	276,500円	施設費(各年) 100,000円 1年研修費・教科書 150,500円 2年研修費・教科書 26,000円
デュアル科 トラベルコース ※2018年4月より募集停止の学科	60,000円	486,000円 (1年次) 510,000円 (2年次)	295,500円	施設費(各年) 100,000円 1年研修費・教科書 173,500円 2年研修費・教科書 22,000円
デュアル科 ホテルコース	60,000円	486,000円 (1年次) 510,000円 (2年次)	276,000円	施設費(各年) 100,000円 1年研修費・教科書 149,500円 2年研修費・教科書 26,500円
デュアル科 エアラインコース	60,000円	486,000円 (1年次) 510,000円 (2年次)	276,500円	施設費(各年) 100,000円 1年研修費・教科書 150,500円 2年研修費・教科書 26,000円
修学支援(任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> ・ホスピタリティ特待生制度:入学時並びに2年進級時に能力・人格ともに優れており、他の模範となる学生を特待生として選出し、授業料の一部を免除する制度 ・修学支援制度:入学適性を持ちながら、経済的理由により支障がある学生に対して、授業料より入学金相当額を免除する制度 				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.ithb.ac.jp/ 但し、当校では当年7月中下旬に自己評価を実施、9月上旬に学校関係者評価委員会を実施することとしており、学校評価の対象年度は前年度となる。現在公開中の自己評価結果及び学校関係者評価は2017年度評価となる。2018年度評価については、自己評価結果は8月中旬ごろ、学校関係者評価は9月末ごろ完成予定。

学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）

〈方針〉

「専修学校における学校評価ガイドライン」に則り、学校が評価項目を設定し、自己評価を行い、自己評価結果は、学校関係者評価委員会において客観的な評価を受ける。全ての評価結果は、専攻分野の教育活動及びその他学校運営の改善や工夫に活かしていく。学校評価ならびに改善方策は公開し、広く社会へ公表する。

〈評価項目〉

- | | |
|---------------|----------------------------|
| (1) 教育理念・目標 | (8) 財務 |
| (2) 学校運営 | (9) 法令等の遵守 |
| (3) 教育活動 | (10) 社会貢献・地域貢献 |
| (4) 学修成果 | (11) 国際交流 |
| (5) 学生支援 | (12) 職業実践専門課程 |
| (6) 教育環境 | (13) 観光・ブライダル分野における教育の質保証、 |
| (7) 学生の受け入れ募集 | 特徴化に向けた取組 |

〈評価委員会の構成〉

選出区分：地域、企業等委員、卒業生等から選出。各々の委員の立場から広く客観的な学校評価を行える委員を選び、企業等委員については、専攻分野に対する知見を有するものを選出する。

〈評価結果の活用方法〉

学校評価を踏まえた問題点や改善事項については、学校長及び各室代表者によるプロジェクトチーム内で改善方策を検討・実行する。プロジェクトリーダーが実行者となり、責任者である学校長の承認のもとプロジェクトメンバーが主体となり、教職員一同で改善を行う。実施期については、改善項目により異なるが改善可能な項目は随時対応していく。また、対応に時間が必要な項目についても中長期的な計画を立て、改善を図る。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
千葉市民活動支援センター	2019年4月1日～ 2021年3月31日（2年）	地域
千葉市経済農政局経済部 観光プロモーション課	2019年4月1日～ 2021年3月31日（2年）	地域
千葉都市モノレール株式会社	2019年4月1日～ 2021年3月31日（2年）	企業等委員
株式会社千葉京成ホテル	2019年4月1日～ 2021年3月31日（2年）	企業等委員
株式会社タビックスジャパン	2019年4月1日～ 2021年3月31日（2年）	企業等委員

学校関係者評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<http://www.ithb.ac.jp/>

但し、当校では当年7月中下旬に自己評価を実施、9月上旬に学校関係者評価委員会を実施することとしており、学校評価の対象年度は前年度となる。現在公開中の自己評価結果及び学校関係者評価は2017年度評価となる。2018年度評価については、自己評価結果は8月中旬ごろ、学校関係者評価は9月末ごろ完成予定。

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<http://www.ithb.ac.jp/>

【様式第2号の4-② 2.教育活動に係わる情報 ①学科等の情報 について】

学年進行中の教育課程のため、単位時間に係わる表記は、2018年度（平成30年度）入学生の1・2年次のものとする。生徒・教員数や卒業、退学に関する数値は、2019年5月1日時点の実態調査の数字による。